

麻酔方法及び麻酔を必要とする場合に関する調査結果

現在、麻酔は「43 脊髄腔内注射」、「44 腰椎注射」、「45 尾椎注射」、「108 麻酔術」及び第 8 手術料の各種別に分かれて適用されている。令和 2 年度病傷給付適正化のための家畜診療実態調査において、麻酔に係る意見があったことから、産業動物獣医療の現場において実施される麻酔方法及び麻酔を実施する場面について調査を行った。

設問	現在、産業動物獣医療においては、以下の麻酔法が行われているものと考えられます。もし、他にも実施している方法がありましたら、その方法を記入してください。 ・表面麻酔 ・浸潤麻酔 ・脊髄くも膜下麻酔 ・硬膜外麻酔（前腰椎部、腰部、腰仙部、尾部） ・静脈内灌流による局所麻酔 ・神経ブロック（又は伝達麻酔） ・全身麻酔（筋肉内注射又は静脈内注射による全身麻酔、吸入麻酔）
回答	・表面→除角時 塩酸プロカイン ・硬膜→帝王切開、四変等 塩酸プロ、リドカイン、キシラジン ・伝達→四変等 塩酸プロ 腰椎側神経麻酔（伝達麻酔） 浸潤麻酔 硬膜外麻酔（尾部）

設問	レントゲン検査、超音波検査、蹄病検査、第 6 処置料の各種別又は第 7 手術料の各種別のために行う以外に、麻酔を必要とする場合がありますら、その内容及びそのとき行う麻酔の方法を記入してください。
回答	鎮静のみ 採尿や採乳、直検など、おとなしい牛ばかりではないので、獣医師が危険と判断すれば鎮静剤を給付対象として欲しい。 牛白血病等での薬殺前の鎮静 触診による骨折・脱臼部位の検査・確認（全身麻酔） この件については、鎮静術にも適用を要望します。 耳洗浄 注射を用いて行う全身麻酔 子宮洗浄の際に尾椎硬膜外麻酔 穿刺検査-キシラジン ・初乳を子牛に投与する時に、母牛の初乳を搾るときに母牛に麻酔をする場合がある ・急性鼓張症などでガスを抜くためにカテーテルを挿入する時 卵巣直接注射（卵胞嚢腫の内容液穿刺吸引）実施時、直腸の緊張や蠕動が著しく、卵巣を持続して保持することが困難な場合がある。直腸の弛緩を目的として、硬膜外麻酔（尾部）等の処置が必要。 全身麻酔下での穿刺検査、内視鏡検査、生体組織学的検査が想定されるが、実施されたことは無い。 セラクラール 2 % 1 m l / k g 筋注 か、キシロカイン 2 0 m l 皮下注 子牛の観血去勢の時に全身麻酔、除角の時に頭部に浸潤